

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

11

November  
2020

山形県中小企業家同友会

# 月刊 同友 やまがた



2020年度新入社員フォローアップ研修



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす  
中小企業経営者の全国組織

2020年度スローガン

10年ビジョンを描き、  
地域と企業の持続性を追求しよう

# 自ら学び行動する人を増やし 地域を元気にしよう



9月29日、新型コロナウイルス感染症の影響で延期していた庄内支部酒田地区会設立決起集会在、ホテルリッチ&ガーデン酒田に於いて開かれ、会員20名で酒田地区会が設立しました。企業づくりと地域づくりの課題が一体となる中、地域のインフラとして持続可能な地域づくりの役割を担うため、同友会が地域社会とかかわる窓口として、山形同友会初となる地区会を庄内支部に設立しました。

当日は県内各地からお祝いに駆け付け、来賓・ゲスト参加者も含め50名が参加。

来賓としては酒田市丸山至市長、酒田商工会議所西村修副会頭、(株)山形銀行早坂悟酒田支店法人営業部部長代理、(株)庄内銀行山科宏幸酒田中央支店執行役員支店長、(株)きらやか銀行斎藤秀酒田支店執行役員支店長にご臨席いただきました。

冒頭、挨拶に立った川合勝芳代表理事は「新型コロナウイルスは世界中に大きな打撃を与えています。日本経済の根幹である私達中小企業には、この難局の克服が求められています。会員相互に学び合いと交流を深め『よい会社をつくろう・よい経営者になろう・よい経営環境をつくろう』という三つの目的を実践し、元気な企業になることは地域の活性化に大きく貢献します。幸せな暮らしを提供する存在となりましょう」と述べました。

記念講演では菅原茂秋代表理事が「同友会の学びは会社を変える」と題して、2005年の同友会入会当時の会社は組織として成り立っていなかったと振り返り、同友会で合意形成の大切さと、科学性・社会性・人間性に基づいた経営

指針づくりで多面的なものの見方を学び、現在があると実践報告しました。

特に経営指針では事業領域を「ものを目的地に安全に届ける運送」から、本当の価値は何かを追究して「物流最適化」に再定義。川上から川下までの物流ソリューションの提案によって、お客様に資する事業展開を図ってきたこと、自社の企業使命、何のために働くのかを社員と共に議論しあっていること、年を重ねても働くことができる会社づくりに取り組んできたことを紹介し、7年前より実施している無記名の全社アンケートで定量的定点観測を行い、全体社風が改善してきているとグラフで説明しました。

そして、「ウィズコロナ時代にあって様々な変化が起きている。我々は新たなものに取り組む必要があります。そのためにも経営指針に取り組み、よい企業をどんどん増やし、若者が輝く街をつくっていきましょう」と語りました。



懇親会では、はじめに佐藤栄司酒田地区会長が「例会に参加した時、お酒も飲まずに3時間も勉強していることに驚いた。グループ討論では本音で経営の話をしているのが印象的で、酒田に何故ないのかと思った。自分達の仕事に対して、本音でこれから将来のために酒田のために何をもって使命として働いていくのかを学ぶ必要がある。これから世の為、人の為になって、この地域で雇用をつくらなければ地域の発展はありません。多くの酒田の方々に参加してもらい、自ら学んで行動していく方が増えるようにしたい」と抱負を語りました。

続いて、丸山至酒田市長より「酒田は中小企業者がほとんどです。地に足をつけて地元で頑張っている企業を応援するのが行政の責務と思っています。行政に忌憚なく意見を言う組織として、お互いに手を取り合って地域づくりに頑張っていきましょう」と期待の挨拶が述べられました。

その後、後藤副代表理事の発声で乾杯し、新生活様式のもとづいて和やかに交流を深めあいました。

# コロナ禍でも地域に若者を残す取り組みを続けよう!

## 山形大学低学年オンラインインターンシップ



9月23～25日、山形大学低学年オンラインインターンシップが開催されました。この低学年インターンシップは、6年前より山形同友会と山形大学が連携して取り組んでいますが、今年度はコロナ禍の影響で中止。しかし、こんな時だからこそ、と試験的に株式会社サニックスと同友会事務局のみで、完全リモートでのオンラインインターンシップを実施。各社1名の山形大生を受け入れ、座学、リモート会議、企業訪問などのプログラムに取り組みました。

最終日は、2社の担当者、山大的松坂・山本両准教授、学生がzoomミーティングを利用して集まり、成果報告会を開催。学生が3日間の成果として、個人目標の達成状況、中小企業のイメージの変化と魅力、働くとは何か、受入先へのメッセージなどを発表。中小企業について「社会変動を団結し乗り越えてきたというイメージを持った」「地域の人のみならず、より多くの人の生活につながっていると実感した」など成果が報告されました。

受入先からのフィードバックの後には成果報告の振り返りや、受入先担当者からは3日間の所感、オンラインで受け入れた感想などをざっくばらんに語り合いました。双方が初めての経験であり、今回の成果を踏まえ今後の活動をブラッシュアップさせていきます。

この低学年インターンシップは採用ではなく、受入企業側の「採用力の強化」「自社の認知度や理解度の向上」「自社の社員教育・組織活性化」などを目的としています。同友会としては来年度以降も引き続き、各学校と連携を図りながら、時代に即したインターンシップに取り組んでいきます。

## 学校との連携(学内合同企業説明会&メッセージ配信)

10月12、13日、山形大学を会場に共同求人委員会主催の学内合同企業説明会が開催されました。一部屋当たりの企業数を例年の半分とし、パーテーションを設置するなど、感染拡大防止対策を徹底した上で実施。2日間で会員企業7社が参加し、山形大学生33名(延べ人数)が参加しました。

説明会に先立って行われたガイダンスでは、佐藤共同求人委員長の開会挨拶の後、参加企業1社ずつPRタイムが行われ、経営者・採用担当者自ら会社の理念・ビジョン・会社概要などを印象的に伝えました。

各ブースでの説明会では、各社に10名前後の学生が参加し熱心に話を聞く姿が見受けられました。学生アンケートの満足度は、2日間ともに100%(満足、やや満足の合計)。「地域の中小企業について理解が深まった」「山形県内の中小企業を知る貴重な機会だった」「企業HPでは知れない話が聞けて良かった」などの感想が寄せられ、参加企業からの満足度も高く、実りのある説明会となりました。

また、東北福祉大学とも連携し、9月から学生向けポータルサイトでの動画メッセージ配信を行っています。佐藤

委員長が山形同友会の共同求人活動をPRし「ぜひ地域の中小企業に目を向けて、足を運んでみてください。同友会は皆さんの就職活動を応援しています!」とのメッセージを配信したほか、会員企業数社が自社のPRと福祉大学生に向けた熱いメッセージを収録し、随時配信される予定となっています。(学生のみ視聴可)

今後も共同求人委員会として地域の中小企業の魅力を伝える場をつくれるよう、各学校との連携強化に取り組んでいきます。



# 半年間の自分を振り返り 語り合って目標を設定



10月5日、TISカンファレンスセンターにて社員共育委員会主催の新入社員フォローアップ研修が開催されました。15名の新入社員、経営者、先輩社員など、総勢34名が参加しました。マスク着用、換気、昼食時やグループ討論時の間隔確保など、新型コロナウイルスの感染対策を実施しての開催となりました。

冒頭、庄司薫社員共育委員長が「4月はコロナ禍で合同入社式・新入社員研修が行われずとても残念でしたが、こうしてフォローアップ研修にお越しいただき嬉しく思っています。この半年間、大変だったと思います。今日は半年を振り返るとともに、どんな目標を立て、どんな社会人になるかを考え合います。初めての研修ですので緊張されているかと思いますが、歳の近い先輩社員さんもいらっしゃいますし、いろいろなお話をして、少しでも気付きを得ていただければと思います」と挨拶を述べ、研修がスタートしました。

体験報告は(株)サニックス 齋藤啓汰さん、(株)E旅 秋田美羽さん、(株)ティスコ運輸 鈴木美姫さんが担当。続いて行われたグループ討論では「仕事は楽しいですか？」をテーマに半年間を振り返り、嬉しかったこと、悩んだこと、失敗したことを語り合ってお互いの成長を確認しました。

その後、(株)アイン企画 代表取締役 松岡友路氏が、自身の経験を交えて講義しました。

松岡氏は、人生設計には自分の夢や希望を持っていること、どんな人間になりたいのか自分が決断することが

重要だと語り、そのために自分の過去、現在、未来を振り返る必要があると提起しました。

そして、人生を山登りにたとえ、「皆さんの人生はどれくらいの山にチャレンジしますか？目標が低いほど簡単に達成できますが、高ければ高いほど時間も技術もお金も必要。人生最大の夢は何なのか考え、ぜひ今日から準備してください」と語りかけました。また、「あなたと言えば〇〇」と言われる人間になるためには、自身も何かのナンバー1になる必要があると呼びかけ、そのための自己分析を勧めました。

そして、自分が暮らし働く地域である山形県の統計や歴史にも触れるとともに、社会人が持つべきプロ意識として「我々一般人は、仕事に関する能力は働き始めてから身につける。会社から学ぶだけでなく、自学自習にも取り組んでプロになってほしい」「お金はお客から信用を数値化したもの。信用力、問題解決能力、実行力が積み重なれば自身の収入も増えていく」と、語りました。

そして最後に「就職はゴールではありません。人生のゴールはまだまだ先です。計画を持ち、失敗を恐れず、チャレンジし続ければ夢はかないます。ここで共に学んだ仲間と将来笑い合えるよう、大変な時代ですが心を強く持って生きていきましょう」とエールを送りました。

午後には、お互いの課題や目標を話し合い、「知識要件」「技能要件」「どんな社会人になりたいか」という3年間の目標を設定し、全員が壇上で決意表明をおこないました。



私は4月から業務部という部署に配属されました。業務部は製作した車両にナンバーを付けて登録するために必要な書類を作成したり、工具をもって作業することはありませんが、製作をサポートする仕事をしています。

入社前、整備の専門学校に通い、整備・板金・塗装などの技術を学んできました。入社後現場で働くことを想定していたのですが、業務部という部署で、どういふことをするのかと思いながら働き始めました。学校で学んだことは約2割しか使わず、法令がとても大事だと気が付きました。車を製作したら、法令に適合しているかチェックをしたり、取り付けられているランプや反射器が問題ないか確認するのですが、その際にランプが光らなかつたり、必要な反射器

が取り付けられていないことが稀にあります。自分の力だけではどうすることもできません。先輩にトラブルの報告をし、現場の人に来ていただき、その場で必要な調整をしてもらうこともありました。自分一人の力では成し遂げられないことでも、多くの人と協力することで、それぞれの役割を發揮すること、チームワークを大切にすることを学びました。

現場にいなくても、現場にいる人たちと営業の人たちを繋いだり、お互いにサポートし合ったりするということにやりがいを感じて、業務部で良かったと思っています。人それぞれの役割を生かすためにも、お互いに協力することを学びました。私は会社になくはならない存在になりたいと思います。経験や失敗から多くの事を学んできました。自分だけで出来ないことでも、協力し合うことで、お互いに成長していけるのではないかと思います。

(株)E旅 秋田美羽さん



去年の今頃には入社が決まっております。研修を兼ねて月に2回程度会社に出社しておりました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により、旅行業である弊社が影響を受けるのはとても必然な事でした。4月になるまでは内定を取り消されてしまうかもしれ

ない、また就活をやり直さなければいけないかもしれないという不安で一杯の生活を送っていました。無事入社することが出来、社会人として頑張るぞと意気込んでいましたが、旅行の手配などあるわけもなく、架空の手配を想定し訓練を行ってきました。新入社員研修として接客やマナーなどを教えていただきましたが、なかなか活用する機会も訪れず、同期入社社員とはお客様が来店された際に教わった通りにできるか、お客様からお叱りをいただくのではないかと不安を

共有していました。そんな私たちを救ってくれたのは、社長の「新人だから分からなくても大丈夫」という言葉でした。失敗しないのが理想ですが、失敗してしまうこともあり、その時に周りがフォローしてくれる、分からないことをすぐに聞くことができる環境があることをその言葉で再認識しました。

3ヶ月の研修が終わり、正式に会社の一員になった自覚を持った頃、ツアーが少しずつ催行できるようになり、企画会議にも参加できるようになりました。企画会議では私のツアー案も実際に催行することができました。また、添乗員としてデビューも行き、その中でお客様から優しいお声をいただいた時にとてもやりがいを感じました。

最初は不安で一杯でしたが、周りのフォローやお客様からの優しい言葉のお蔭でとてもやりがいを感じています。足りないところは沢山あると思いますので、いち早く一人前と認められるよう努力していきたいと思っています。

(株)ティスコ運輸 鈴木美姫さん



入社してから半年、物流事業という新しい世界に飛び込み、何の知識もなかった私は分からないことばかりで、電話対応や来客の対応に関しても先輩方にフォローしていただくことが多いです。

現在、私は配車対応と積み込みのドライバー対応を行っています。取引先とコミュニケーションを取りながら、効率よい手続きに努めています。仕事の性質上、荷主様や各取引先、現場の方々や社内の方々など非常に多くの方とコミュニケーションを取らねばなりません。関係性が出来ていないと時間的に厳しい仕事や、急な予定をお願いするときに頼みづらくなってしまいます。その為最初の頃は倉庫に赴き、取り扱っている荷物の勉強をしたり、ドライバーさんたちがどのように荷物を積み、どのようなルートで走っているのかなど、ドライバーさん達に教えていただき

ながら、現場の状況を学びました。今でも配車をする時は上司に確認していただくのはもちろんですが、ドライバーさんにも予定の確認を取るようになっています。そうすることでドライバーさんにも意見を出してもらえて、より効率的な配送ルートを構築できるようになりました。周りの方とうまく連携を取り、適切な配車を出来た時にやりがいを感じています。時には難しい配車のオーダーが入るときもありますが、上手く対処することが出来た時には非常に達成感を感じています。

皆様からの期待に応えられるよう、日々勉強していくうちに、物流の絡んでいない業界はない、人が生活する上で欠かさないあらゆるものを届けているのが物流業界であり、社会を支えているという実感を持つようになりました。自分の事に精一杯になると、周囲に目を配れなくなるので、余裕を持ち、上手く連携が取れるようになりたいです。不慣れな部分もありますが、お客様との交流を深め、今後はさらに仕事を任せてもらえるようになりたいと考えています。

# 企業訪問

## コロナ禍でも食の力で世界を変えていく！

**(株)食の力コーポレーション**  
代表取締役 福原和輝氏  
(新庄最上支部)



戦後間もない昭和20年、現社長である福原和輝氏(新庄最上支部会員)の祖父が訪問販売の一種である「御用伺い」を始めた際、鮮魚の需要が高かったことを受け開店したマル八福原鮮魚店。時代の変化に伴い、鮮魚と仕出しに特化し現在に至ります。

福原社長は大手飲食店での店長・エリアマネージャーを経て2010年に入社。2014年に(株)食の力コーポレーションとして法人化し、社長に就任。「海鮮問屋マル八福原鮮魚店」「山海料理 福原」「仕出し専門 謹製のまる福」の3業態を展開しています。

新型コロナ禍の影響は大きく、3月末頃から会合の中止や、4月以降の大口注文のキャンセルが相次ぎました。仕出しを折詰に変更したり、テイクアウトも始めましたが、大きなプラスにはならず、一時期は前年同期比の半以下にまで落ち込みました。

しかし手をこまねくことなく、例年7月から始まる土用の丑の日の鰻の予約を6月からスタート。自社の強みとなる商品に集中し、前年を大きく上回る売り上げがありました。

シーズンが過ぎた後も「お客様に忘れられないよう、こちらから外に出なければいけない」と考え、テイクアウトのチラシを毎日配布、市内の直売イベントにも出展するなど、攻めの姿勢で営業を続け、売り上げは回復の傾向を見せています。その後もカタログの一新、洋食メニューの開発など、計画的に新しい取り組みを進めています。

現在注力しているのがおせち。ミシュランガイドでピブルグマンにも認定された神奈川県「鰯 福原」の大将である弟さんが監修したおせち重を今年は販売します。かつてはふるさと納税の返礼品として関東圏を対象としましたが、「この味を最上、山形に！」と、一般での予約販売を開始。福原氏も「同友会の皆さんにもぜひ！」と自信を持ってお勧めしています。

コロナ禍で、山形駅前だけでも40店近くの明かりが消えたとの報道もあり、今後周囲を巻き込んだ挑戦が必要と語る福原氏。新種養殖マス「ニジサクラ」の活用や、他店や料理人に自社厨房を貸し出して販売を仲介する事業なども準備中。「料理には作った人のすべてが現れる。それが広められないのはあまりにもったいない」「本業に徹底して取り組みつつ、スピード感をもって、自分だけにとどまらない挑戦を続けたい」と、今後の抱負を語りました。



# 第17回経営研究集会

2020年 **11.24**(火) 14時00分～  
18時20分

会場 **山形テルサ アプローチ**  
山形市双葉町1-2-3 ☎023-646-6677

## ▶問題提起

### 事業戦略

#### 失敗から学んだ事業戦略

(株)カーサービス山形 代表取締役 小川大輔氏

### 採用と共育

#### 募集から採用の取り組みで未来をつくる

(株)大久保硝子店 代表取締役副社長 大久保徳朗氏

会場参加とZOOM参加で開催いたします。

## 第17回経営研究集会に向けて



実行委員長  
高橋 明

この度の新型コロナウイルス拡大のため、開催が危ぶまれることがありました。しかし私たち実行委員による協議の末、ぜひとも開催の方向でいきたいとの想いで全員の意見が一致しました。

このような状況でも足を止めず積極的に企業活動をされている(株)カーサービス山形小川大輔社長と(株)大久保硝子店大久保徳朗副社長に問題提起をお願いしました。問題提起に沿った熱いグループ討論も期待しています。

こんな時こそ変化を厭わず、自社の本分を見失わず、存続し発展させ、地域から必要とされる唯一無二の存在であり続けることを目指そうではありませんか。皆さまが仲間と何が出来るか考え、共に試練を乗り切る一助に今回の経営研究集会がなれたら幸いです。

## 11月例会のご案内

### 山形支部

#### 11月セミナー コロナ禍における事業戦略とVISION

日時: 2020.11.10(火) 18:30~21:00

場所: ビッグウイング4階

山形市平久保100番 ☎023-635-3100

報告者: (株)ジョイン 代表取締役 武田良和氏

新しい生活様式に対応することがマストな時代。

人との接触を極力減らさなければならない現状で、様々な業態が変革を迫られている中、いち早く状況対応を開始したジョイングループ。

今後の婚礼・葬祭を含めた同社の事業戦略と、社員とのビジョン・意識の共有をどの様に進めているのか具体的な事例を紹介いただきながら報告していただきます。

### さくらんぼ支部

日時: 2020.11.18(水) 18:30~21:00

場所: さくらんぼタントクルセンター視聴覚室

東根市中央1丁目5-1 ☎0237-43-1155

報告者: (株)E旅 代表取締役 金田史生氏

新型コロナの影響で売上が激減している旅行業界の(株)E旅 代表取締役 金田史生氏よりコロナ禍の中での対応と取り組みを報告いただきます。

詳細については後日ご案内します。

## 「同友メール便」「e.doyu」利用についてのお知らせ

\* 同封できる内容、料金等は下記のとおりです。

### 1、同友メール便(定期便)の場合

- ① 会員企業のものであること。(所属する他団体のものは不可)
- ② 内容について、経営に役立つもの、物品販売も可
- ③ 同封できるサイズはA4、1枚まで
- ④ 有料制とする。基本料金1,000円+(1枚10円×発送部数)
- ⑤ 多数の依頼があった場合、先着順とし毎月5件まで
- ⑥ 同封の可否は、事務局で精査し常任理事会で承認
- ⑦ 申し込みは、発送日の2週間前まで(発送日が毎月月末)

### 2、e.doyu 掲示板を利用の場合

- ① 会員企業のものであること。(所属する他団体のものは不可)
- ② 内容について、経営に役立つもの、物品販売も可
- ③ 添付できるデータは、A4サイズ1枚  
(データ送付先: Email: info@yamagata-doyu.jp)
- ④ 有料とし、料金は5,000円
- ⑤ 事務局で精査し常任理事会で承認後掲示
- ⑥ 掲示期間は1ヶ月以内とし、期限があるものはその期限まで

■開会挨拶

菅原代表理事が「コロナの収束が見えない中、大企業の賞与に関する報道では企業間格差も大きい。大企業の賞与が支給されなければ消費の低迷、中小企業への影響なども当然ある。同友会はいかに経営環境が厳しくとも企業を維持発展させることに取り組む。県議との懇談会や酒田地域での連携、女性部への意見交換会のお声がけ、オンラインインターシッブなど、いろいろな活動が社会に重要視されていると実感している。歩みを止めず活動してきた成果です。今後とも会員に資する事業に取り組んでいこう」と挨拶しました。

■報告事項

- 1)第48回青年経営者全国交流会(WEB開催)9月17~18日 6名参加  
佐藤(淳)理事が1日目は17の分科会、2日目は青年部連絡会の歴代会長によるパネルディスカッション、2030年ビジョンの発表が行われ、事前準備の徹底によるスムーズな進行、事前のルール決めがしっかりされていたのが印象的だった。全国から約1500名の参加で、山形は6名で少なく、参加呼びかけに課題を残したと報告しました。
- 2)中同協第2回幹事会 10月5日 Zoom開催  
川合代表理事が全国の会勢は現時点で45912名と、期首から1555名減だが、コロナ禍の中でも必要としている経営者が多い事も伺え、ぜひ周りの方々にご案内をお願いしたい、また万能型BCPに関しての事務局の事例の報告、グループ討論では各県の活動報告と意見交換が行われ、全国行事についての議題もあった。ぜひ全国の熱い経営者と意見交換をさせていただきたいと、報告しました。
- 3)県議会健康医療・子育て支援対策特別委員会と若手女性社員との意見交換会  
矢作事務局長が10月8日に会員企業より5名の社員が参加し、「20歳代の女性が活躍できる、増加する。定住するには何が必要か」をテーマに意見交換を行い、各社の社員の皆さんよりしっかりと意見を発言していただき、実り多い会となったと、議事事務局と小松議員より電話があったと報告しました。
- 4)新入社員フォローアップ研修 10月5日 38名参加  
伊藤理事が3名の新入社員の体験報告とグループ討論では、お客様との触れ合いの中で褒められたりすることで人の役に立っていることを実感し、悩みとしてはチームワークの重要性やコミュニケーションに関することが多かったこと、(株)アイン企画松岡社長の講義では、人生設計、時間の使い方、目標の立て方、山形についてなどをお話いただき、経営者側にも参考となったこと、午後には今後の目標について話し合い、目標シートを作成したことを報告しました。
- 5)第25期経営指針をつくる会第3講 10月8日  
小川理事が講師に大阪同友会の山田製作所山田会長をお招きし、講義部分はZoomでオープンセミナーとし開催、なぜ経営指針を作っているのかという部分からの掘り下げ、経営指針書をはじめ、自社の全てをさらけ出しながらの講義は、大変有意義であった。翌日は齋藤マシン工業(株)を訪問し、相互に学び合い、製造業の3Sの徹底ぶりに遠く及ばないことを実感し、自社の会議でも3S徹底を呼び掛けたと、報告しました。
- 6)2020年度9月月次報告  
矢作事務局長から月次報告がありました。
- 7)2020年度9月次決算報告  
矢作事務局長から月次決算報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 4名入会、2名退会 420名

■討議事項

議題1:組織委員会より

菅原代表理事が、コロナ禍でも徐々に増強が進んでいることを紹介した上で、オリエンテーションにゲスト参加を募り、同友会の趣旨に理解を深めていただくことを提起しました。また、地区会活動について、支部と地区の役割について議論をし、支部は長期的な視点で地域のインフラとなる必要があり、今後地域での委員会活動にも取り組むことで企業を発展させ、雇用を維持し地域活性化

につながることを再度確認したことを報告しました。

議題2:酒田地区設立決起集会のまとめ

●51名参加(庄内支部会員26名、他支部会員16名、ゲスト4名、来賓5名)  
佐藤(栄)理事から参加人数の報告と、協力の御礼があり、「これをステップに酒田のみならず地域が盛り上がるきっかけにしたい。酒田にはまだ伸びしろがある。会員拡大に努めていきたい」とまとめました。

議題3:下半期の活動について

- 1)上半期の振り返り  
川合代表理事から資料を基に「活動」「情報発信」「web活用」「調査要請」などの視点から上半期の山形同友会について「期首会勢425名→420名で5名減」「Web参加もできる例会も開いているが、例会参加数が減少傾向」「e.doyuの利用者を増やす」などの課題について報告がありました。次回までに各支部で例会参加数に関する意見を 集約することとなりました。
- 2)企業づくりの課題  
川合代表理事が「新型コロナウイルスの影響」「お客様、お取引様などの変化」「変化にどう対応しているか」について説明し、世界的不況といわれ体力のある企業が取引先として選ばれる状況になっているとし、識者の意見として小切手、手形を発行せずに不渡りを出さない企業、長期借入を重視し当座比率100%の企業を目指すべきとの考えを紹介しました。その後、参加者からの現状報告がありました。
- 3)下半期の活動について  
今後の活動について、山形支部からはチラシ、動画等を活用したe.doyu利用向上の取り組み、「知り合おうプロジェクト」がスタートし、事業連携のプロジェクトに留まらず地域課題解決につながる取り組みとしていくこと、さくらんぼ支部からは会員それぞれが独自の連携やプロジェクトがあり、幹事会で後押しをしていくことなどが説明され、意見交換が行われました。

議題4:第17回経営研究集会について

高橋理事から準備状況の説明があり、参加目標と予算案が承認されました。

議題5:2021新春交流会について

菅原代表理事から2021新春交流会は「コロナの状況をみながらリアルとWebで参加できる形式で開催する」「実行委員長を(株)マルタニ 長谷川吉之介社長に依頼する」ことが提案され承認されました。また、緊急事態宣言の対象となった場合は中止等の措置をとることなどを申し合わせました。

■その他

- 1)今後の予定について
  - 10月20日(火)新会員オリエンテーション(同友会事務局)16:00
  - 10月21日(水)採用活動&WEB活動対策事例交流会(TISカンファレンス)14:00
  - 10月22日(木)中同協人を生かす経営オープンセミナー(Zoom)13:00~17:00
  - 10月28日(水)委員会合同例会(TISカンファレンス)13:30
  - 11月16日(月)第23回女性経営者全国交流会(Zoom)13:00~18:00
  - 11月21日(金)第25期経営指針をつくる会第4講(TISカンファレンス)9:00
  - 11月24日(火)第17回経営研究集会(山形テルサ)14:30
- 2)次回理事会
  - 日時:11月11日(水)15:00~17:00
  - 会場:TISカンファレンスセンター

■閉会挨拶

川合代表理事が「コロナ禍において、仲間同士でちょっとしたことでも相談し合い、これからの企業経営に役立つ話をして乗り切っていきましょう」と述べました。



- ◆ **鈴木 康子氏** (株)セントラルリース 代表取締役 仮設定場・仮設環境品のリース業 山形支部
- ◆ **三澤 潤氏** 旭自動車(株) 代表取締役 自動車整備業 山形支部
- ◆ **國井 寿一氏** (株)タマツ 酒田営業所長 福祉用品の販売及びレンタル・商品開発 庄内支部酒田地区会
- ◆ **菅原 勝安氏** (株)グローバルマシーン 代表取締役 一般産業機械部品の設計・製造・組立 庄内支部酒田地区会

役職変更

- (株)エム・エス・アイ 専務取締役 佐藤一夫氏⇒ **常務監査役(山形支部)**
- フィリップモリスジャパン合同会社 ディストリクトキーアカウントエグゼクティブ 豊田正晴氏⇒ **フィールドエグゼクティブ(山形支部)**